

唇裂における Reverse U 変法を用いた外鼻修正術の検討

1. 研究の対象

1998 年から当院で外鼻修正術を受けられた方

2. 研究目的・方法

当院において、1998 年から Reverse U 変法による外鼻修正術を行った患者を対象に、術後の外鼻形態の測定を行う。その結果をもとに、この術式における形態評価を行う。あわせて、外鼻形成術後の形態評価を当院での初回手術後の症例と、他院での初回手術後の症例で比較検討を行う。

通常の診療で術前術後に共通の条件で撮影された写真を用い、共通の計測ポイントを設定する。すべての症例でこれを計測する。計測値をもとに、形態の評価を行う。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病名、年齢 等

試料：写真撮影 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：

地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

形成外科 今井 啓介

〒534-0021 大阪市都島区都島本通り 2-13-22

TEL 06-6929-1221 (代表)